

都市経済学Ⅰ

科目ナンバリング ECP-311

選択 2単位

其田 茂樹

1. 授業の概要(ねらい)

都市経済学は、その基礎をミクロ経済学に置くものですが、理論やモデルについては最小限にとどめつつ都市経済学Ⅱと連続して日本の都市に関する制度や都市の現状と課題を理解することをねらいとします。

2. 授業の到達目標

学生は、日本の都市と都市の経済に関する関心を深めます。

学生は、都市経済の課題を理解し、それについての自分の見解を形成する基礎を身につけます。

3. 成績評価の方法および基準

(1) 授業期間にLMS上に提示する課題:50%

(2) (1)とは別にLMS上に提示する期末課題50%または対面による授業内試験50%

詳しくは第1回授業で説明します。

4. 教科書・参考文献

教科書

使用しない

参考文献

高橋孝明 都市経済学 有斐閣

佐藤泰裕 都市・地域経済学への招待状 有斐閣

小淵洋一 現代の都市経済学 中央経済社

5. 準備学修の内容

次の2点を心がけてください。

・新聞などの報道等によりもたらされる財政に関する情報に関心を持つ。

・参考文献に限らず各回の授業に関係する文献に目を通す。

6. その他履修上の注意事項

都市経済学Ⅱと併せて受講されることを希望します。

受講マナーの悪い学生には、学期の途中ででも以降の受講をお断りする、または、受講しても成績評価の対象から外すことがあります。

7. 授業内容

【第1回】 ガイダンス

【第2回】 都市とは

【第3回】 日本の都市と地域

【第4回】 都市経済学とは

【第5回】 都市集積の理論

【第6回】 市場の失敗と政府の失敗

【第7回】 地域の産業構造

【第8回】 都市における産業の立地

【第9回】 消費者行動の理論

【第10回】 都市内の土地利用の理論

【第11回】 都市の土地政策

【第12回】 都市の住宅問題

【第13回】 都市の住宅政策

【第14回】 春季の総復習とディスカッション

【第15回】 まとめと評価